6.18.8 出力短絡検出

F 6 13 :始動時短絡検出選択

・機能

インバータ出力側の短絡検出を行います。

F 6 : 3 = □:標準パルス幅で運転開始時に毎回検出を行います。

F6!3=!: 電源投入時またはリセット後最初の始動時に1回のみ標準パルス幅で検出を行います。

F6 /3=2:短時間パルスで運転開始時に毎回検出を行います。

F&!3=3:電源投入時またはリセット後最初の始動時に1回のみ短時間パルスで検出を行います。

「パラメーク設定】

L/ 10/ DEALS						
タイトル	機能	調整範囲	標準出荷設定値			
F	始動時短絡検出選択	○:毎回(標準パルス)1:電源投入後1回目のみ(標準パルス)2:毎回(短時間パルス)3:電源投入後1回目のみ(短時間パルス)	0			

6. 18. 9 過トルクトリップ

F 5 !5: 過トルクトリップ/アラーム選択

<u>F6 16</u>: 過トルク検出レベル F6 18: 過トルク検出時間

F 6 19 : 過トルク検出レベルのヒステリシス

・機能

トルクが、F6:16で設定された値以上になった時点から、F6:16 -F6:19 超過の状態が、F6:18 で設定された時間続いた場合、トリップさせたりアラーム出力させることができます。トリップ表示は"BE"です。

F6:S=0: トリップしません(FL 不動作)。出力端子機能選択で過トルクアラームを出力できます。

F6 15 = 1: F6 16で設定されたレベル以上のトルクが、**F6 18**で設定された時間検出されてからトリップします(FL 動作)。

[パラメータ設定]

タイトル	機能	調整範囲	標準出荷設定値
F 5 15	過トルクトリップ/アラーム選択	O: アラームのみ 1: トリップあり	0
F 5 1 5	過トルク検出レベル	O (不動作)、 1-200(%) 注1)	200
F6 18	過トルク検出時間	0.0~10.0 (s) 注2)	0.5
F 6 19	過トルク検出レベルのヒステリシス	0~100 (%)	10

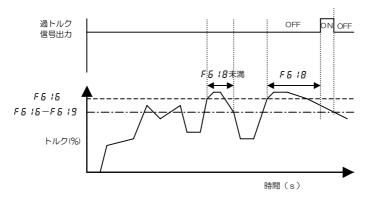
注1) モータの定格トルクが100%です。

注2) F 5 : R = 0.0 秒は、制御上の最短時間での検出となります。

<動作例>

出力端子機能:28(OT)過トルク検出

F & 15=0 (アラームのみ)



F & 15=1 (トリップあり) を選択しますと、過トルクがF & 18で設定した時間検出されてからトリップします。その際、過トルク信号はONのままです。

6.18.10 冷却ファン制御選択

F 6 2 0 :冷却ファン ON/OFF 制御

・機能

運転中と周囲温度が高いときのみファンを運転するように設定できます。 通電時に常時運転するよりも冷却ファンの交換時期を延長することができます。

F620 = 0: 冷却ファン自動制御あり。運転中と周囲温度が高いときのみ冷却ファンを作動させます。 **F62**0 = 1: 冷却ファン自動制御なし、通電中は常にファンが作動します。

★インバータが停止中でも周囲温度が高い場合には、自動的に冷却ファンが動作します。

[パラメータ設定]

タイトル	機能	調整範囲	標準出荷設定値
F620	冷却ファン ON/OFF 制御	O:ON/OFF 制御あり、 1:常時 ON	0